

なりたい。」

将来の希望についてあまり関心を示さなかったN男であったが、個別教育相談によって希望する職業を持つことができた。



作文「私の希望」発表

指名されるとN男は、堂々と作文を読みあげることができた。読み終わるとN男の隣の女子が、「N男君、やったね。」と笑顔で声をかけた。生徒たちも一段と大きな拍手を送った。N男は満足そうな表情を見せた。

次に、事前に数名の生徒にまとめさせた希望する職業のアンケート集計表を提示し、係の生徒に発表させた。生徒たちは、25種類もの職業が提示されたことに、驚きの声を上げた。

ウ 今後の生活に対する意欲を高める

希望の実現に向かって、性格、行動面での努力

点、改善点について気づき、今後の生活に対しての意欲を高めることがねらいである。また、努力点、改善点に気づかないでいる生徒に対しては、良い面を認めながら、個別に助言する。

まず、希望する職業に就くために必要な適性、資格などを書き込んだプリントをもとに、自分の特徴を振り返らせた。その後、看護婦さんになる場合を例として提示した。その例を参考にして、各自、学習プリントに努力点、改善点を書き始めた。教師は机間指導をし、適切なアドバイスをした。鉛筆を持ったまま、考え込んでしまったN男に対しては、次のように助言した。

T : ツアーコンダクターになるためには、どんな点がんばったらいいだろうね。

N男 : (少し考えて) 英語ができないとだめかなあ。でも、僕は英語ができないからなあ。

T : 君は努力家だからきっとできるよ。

N男 : そうですか。地理の勉強もしなくては。

T : さすがN男君。いい点に気がついたねえ。

先生もそう思うよ。もっとあるようだね。

N男 : 人に親切にすることも必要だと思います。

T : なるほど。とても大切なことだねえ。

N男は、いつも親切に教えてくれる隣の席のA子に漢字などを聞きながら書いた。

段階	学習内容・活動	時間	指導上の留意点	集団に対する指導援助	個人に対する指導援助	検証の観点
展 開	4. 自分の今後の努力点、改善点についてまとめる。	30	○ 希望した職業につくための、改善点、努力点について学習プリントにまとめる。	○ 前時の学習プリントを参考に振り返らせる。 (自己理解) ○ 自分一人ではなかなか考えのまとめられない生徒も出てくるので、その際は、班内で話し合うことにより気づかせるようにする。 ・班内でのアドバイス A「僕の性格は・・・だと思っただけでみんなは、僕が～になるためにはどうしたらいいと思う。」 B「A君の場合・・・になりたいならばやっぱり～なんかしつかり努力すべきだと思うよ。」 ○ T Pシートには特に、努力したいと思うことを書かせる。(将来への向上)	○ 下位の生徒で自分の改善点、努力点をとらえられない生徒には、机間指導を行い指導する。(自導) T「N君は、自分の性格とかはどうだと思ってる。」 N「いいところは全然ないんじゃないかな。」 T「いやそんなことはないと思うよ。実際に清博なんか一生懸命に頑張っているじゃないか。」 N「あつ、そうか・・・はあんまりよくないけどそういうこともあつたんだ。」 ○ 中位の生徒に関しては具体的な例をあげて努力点について考えさせ今後の見通しを持たせるようにする。(自己理解) T「Aさんは、～になりたいという希望を持っていることはすばらしいと思うんだけど、・・・という性格からこの希望職業に就いたらどうなってしまうだろうね。」 A「やっぱり、長続きはしないでみんなに迷惑かけちゃうんじゃないかな。」 T「ということはこれかどうすることが一番いいのかな。」 A「こつこつ努力する粘り強さを身につけなければならない」	○ 学習プリントに今後の改善点、努力点をまとめることができる。 ・自分の特色を振り返ることができる。 ・具体例をもとに書き方が理解できる。 ・学習プリントに改善点、努力点を書き込むことができる。 ○ 意見を発表したり、深く考えたりすることで、向上を目指して頑張っている姿を見ることができる。(観察・発表) ・元よく自分の改善点、努力点を発表することができる。
	(1) 自分の特色について、前時のプリントをもとに振り返る。	2	○ 希望する職業と自分の特色を照らし合わせて振り返らせるようにする。			
	(2) 示された具体例をもとに、書き方をとらえる。	3	○ 具体例は、生徒の希望にはなかった職業とし、生徒がとらえやすいよう発表しながら示す。			
	(3) 自分の改善点、努力点をプリントに書き込む。	10	○ できた生徒には、考えた内容が形式的でないか、また、具体的に実行することが可能かどうか、十分吟味させる。			
	(4) T Pシートに自分の改善点、努力点を書く。	2	○ あらかじめ配布しておいた、T Pシートに自分の改善点、努力点のひとつを書かせる。			
(5) 書いたものを発表する。	11	○ 教師は発表の内容を受容し、認めながら発表させ、意欲を持たせるようにする。 ・自分の今後の改善点、努力点に気づき、学習プリントに書くことができたか。 ○ 発表はできるだけ多くの生徒にさせたい。	○ 発表について認め、自分の努力点と比較しながら考えさせる。(将来への向上) ○ 多くの生徒に発表させることにより、より多くの生徒に自信を持たせる。(将来への向上)			

図IV-23 指導過程(一部抜粋)